

令和4年度「吹田市地域防災計画」修正の概要

1. 地域防災計画修正の背景

- 日本各地で頻発する、線状降水帯に伴う風水害や東日本大震災や熊本地震をはじめとする地震災害などの過去の災害や新型コロナウイルス等の感染症対策を契機に災害対策が見直されてきました。
- 吹田市においても、過去の経験を通じて明らかとなった市の防災上の問題点や課題、前回の計画修正以降に修正された国や大阪府地域防災計画等との整合を図り、庁内の実情を踏まえ、災害時に機能する実効性の高い地域防災計画を目指し、見直しを行います。

2. 主な修正内容

1 上位計画の修正

- 過去の災害や近年のコロナウイルス対策の教訓により、大阪府地域防災計画が令和4年1月に修正されました。
- また、令和4年6月には、令和3年度に発生した災害や最近の施策の進展などを踏まえ、防災基本計画が見直されました。
- 上位計画の修正に伴う文言や語句の修正を行いました。

【主な内容】

- 適切な避難行動の促進や避難情報の発令（風水害-6,7、資料-26）
- 外国人避難者のニーズなど、多様な視点を踏まえた防災対策の推進（共通-45）
- 各種災害対策チームや関係機関等との連携・協働の促進（共通-43,45,97,137）
- 物資等の事前状況確認に関する内容の追記（地震-47、風水害-118） など

2 組織改正等に伴う事務分掌見直し

- 令和4年4月の組織改正に基づき、発災時の体制及び応急業務等の見直しを行いました。
- 危機管理室兼務職員の位置づけを明確にしました。
- 各部が有事の際に迅速に行動できるよう見直しを行いました。

【主な内容】

- 現庁内体制に即した発災時の体制及び事務分掌の見直し（共通-85,89）
- 危機管理室兼務職員を統括部本部班及び情報収集記録班の項目に追（共通-81）
- 危機管理室兼務職員の位置づけに伴う統括部の班体制の見直し（共通-81）
- 統括部調達班と市民部物資班の事務分掌の整理（共通-83）

3 その他突発災害応急災害に関する項目の追記（事故等-14~17）

- 令和4年4月27日に工事現場において発見された不発弾処理の対応を踏まえて、あらゆる災害に柔軟に対応できるよう計画の中で整理を行いました。

【主な内容】 災害・事故の例

宇宙関連災害	特殊災害（CBRNE災害）
宇宙天気現象に関する災害	不発弾による事故
○太陽フレア爆発等による影響 1989年3月にカナダでおよそ10時間に及ぶ大規模な停電が起きて600万人に影響が出たほか、2003年10月にはスウェーデンでも1時間の停電が起き5万人が影響を受けた。	○1974年3月那覇市 下水道工事中、地中に埋まっている不発弾に建設機械が接触して爆発。30数名の死傷者を出す事故となった。
自然災害	大規模な事故など
突発的な風水害	鉄道事故
○竜巻 2006年11月 北海道佐呂間町竜巻が発生し、死者9人、負傷者31人をだした。国内の突風被害で最悪の人的被害となった。	○2005年4月福知山線脱線事故 塚口駅～尼崎駅間において、制限速度を大幅に超える速度で進入し、車両の脱線、及び進行方向左側のマンションへ衝突。乗客106名、運転士1名が死亡し、562名の乗客、付近を通行中の1名が怪我をした。